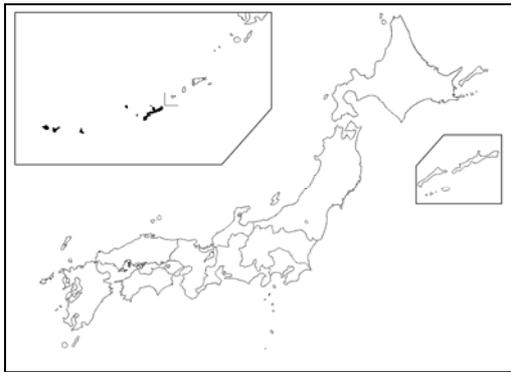


(11) 沖縄



沖縄地域では、景気は回復している。

- ・ 観光は増加している。
- ・ 個人消費は増加している。
- ・ 雇用情勢は厳しい状況にあるものの、改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 25 年 8 月)	今回 (平成 25 年 11 月)	
住宅建設	減少	大幅に増加	

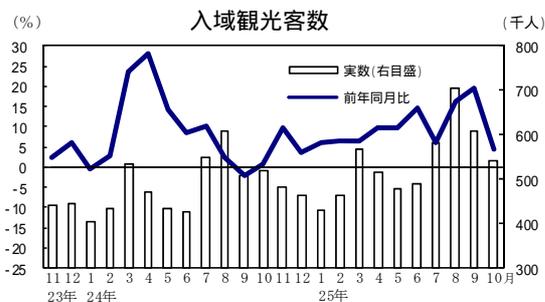
1. 観光及び企業動向

(1) 観光は増加している。

入域観光客数のうち、国内客については、7月は新規航空路線の就航や季節運航路線の再開により、関西方面を中心に好調に推移したこと、8月は観光トップシーズンであることに加え、個人消費回復や雇用情勢改善など景況感が上向していること、9月は前年は連休中・週末に2回の台風が襲来したが、今年は台風による影響がほとんどなく、連休が2度あったことにより前年を上回った。10月は上旬の台風23号24号による航空便欠航に伴い、旅行キャンセルが相次いだことから、13か月ぶりに前年実績を下回った。

外国客については、7月は昨年好調であった中国からの大型クルーズ船寄港がなかった反動から、前年を下回ったが、昨年比で航空路線が拡充された台湾、韓国を中心に訪日旅行需要が堅調であったことから8月、9月は前年を上回った。10月は3連休中に大型クルーズ船が寄港したことから欧米人観光客が増加し、前年を上回った。

主要ホテルの客室稼働率は、那覇市内ホテル、リゾートホテルともに前年同期を上回っている。



入域観光客数等の動向

(単位: 千人、%)

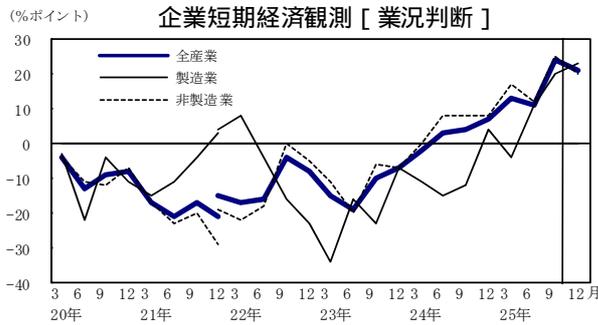
	25年1-3月	4-6月	7-9月	25年10月
入域観光客数	1,462	1,483	1,897	543
(前年比)	6.5	11.4	13.9	4.5
ホテル稼働率	75.8	69.7	84.3	-
(前年差)	4.5	5.4	8.4	-

(備考) 1. 入域観光客数は沖縄県観光政策課調べ。

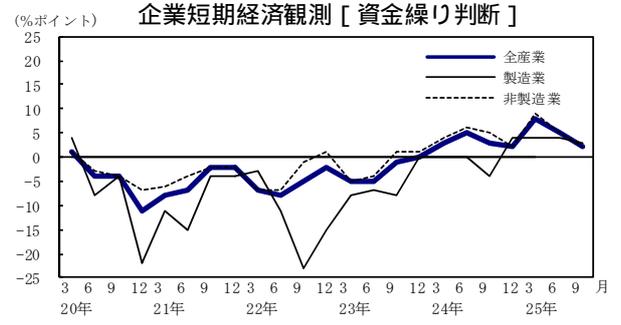
2. ホテル稼働率は日本銀行那覇支店調べ。

(2) 企業動向の業況判断は「良い」超幅が拡大、資金繰り判断は「楽である」超幅が縮小している。

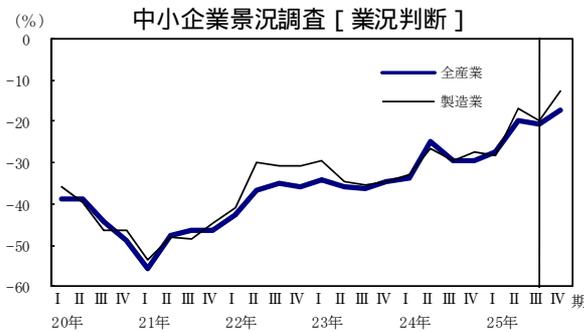
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考) 「良い」 - 「悪い」 回答者数構成比。25年12月は予測。
21年12月は新・旧基準を併記。



(備考) 「楽である」 - 「苦しい」 回答者数構成比。
21年12月は新・旧基準を併記。

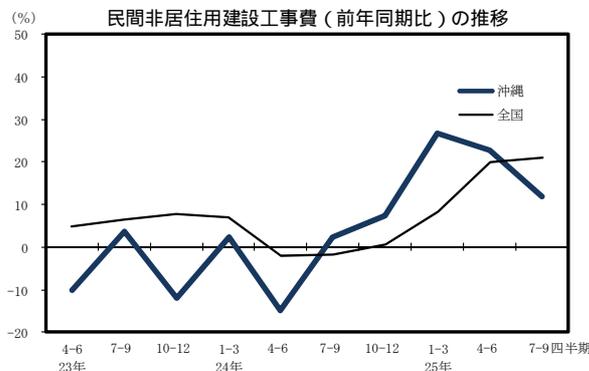


(備考) 「好転」 - 「悪化」 回答者数構成比。25年IV期は見通し。
九州(含む沖縄)地区のDI。

景気ウォッチャー調査(10月)[企業動向関連(現状)]

「公共工事は前年比でやや増、民間工事は横ばいである。今月は台風の接近で悪天候が続き、工事の進捗が遅れている(窯業・土石製品製造業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は大幅に増加している。



企業短期経済観測調査[設備投資(9月調査)]

	(前年度比、%)	
	24年度実績	25年度計画
全産業	19.7	30.8(11.3)
製造業	72.6	140.1(1.2)
非製造業	14.1	13.3(15.2)

(備考) () は前回(6月)調査比修正率。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は増加している。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

7月は前月比1.7%減、8月は同1.9%増、9月は同0.1%増となった。

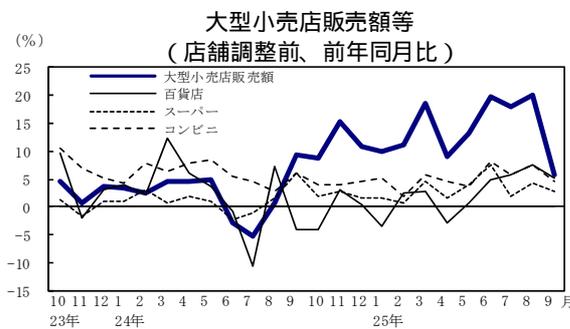
百貨店販売額、スーパー売上高

百貨店は、7月は昨年よりも旧盆時期が早まり、お中元ギフト需要が前倒しになったこと等から、前年を上回った。8月は昨年よりも台風の影響が少なかったことから衣料品が増加したこと等から、前年を上回った。9月は催事時期の変更により食料品は減少したが、台風の影響が少なかったことから衣料品・雑貨・身回品が増加したこと等から、前年を上回った。スーパーは、新規店舗の出店効果に加え、昨年よりも台風の影響が少なく、食料品、衣料品、住居関連が前年を上回ったこと等から、前年を上回った。

景気ウォッチャー調査(10月)[家計動向関連(現状)]

沖縄地域の家計動向関連DIは、54.8となり前月より3.2ポイント低下した。

「住宅展示棟への来場者数は変わらないが、消費税増税後の額はシビアに検討されており、受注件数は先月より減少している。駆け込み受注の反動もあり、やや悪くなっている(住宅販売会社)」など、「やや悪くなっている」とする回答が増加した。

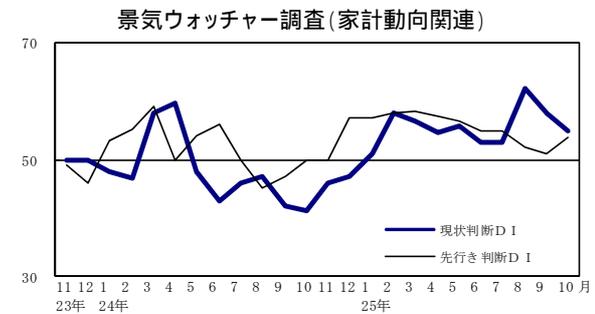
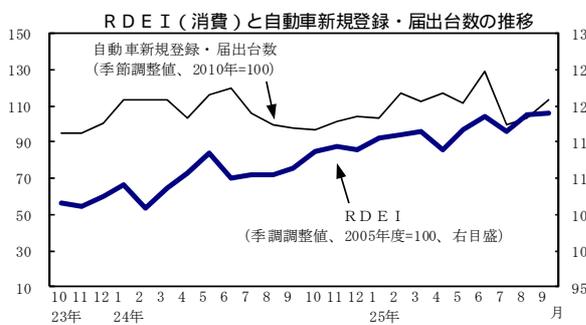


	25年7-9月	25年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	1.5	▲1.7	1.9	0.1
大型小売店(*2)	14.7	18.0	20.0	5.9
百貨店(*2)	6.2	5.9	7.5	5.2
スーパー(*2)	3.1	2.0	4.4	2.8
コンビニ(*2)	6.0	5.9	7.4	4.5
乗用車(*3)	1.0	▲6.2	2.2	15.3
(季節調整値)(*3)	▲11.3	▲22.7	3.5	10.0

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 大型小売店は経済産業省調べ(店舗調整前)。百貨店、スーパー、コンビニは日本銀行那覇支店調べ(百貨店以外は全店)。前年同期(月)比 (%)。

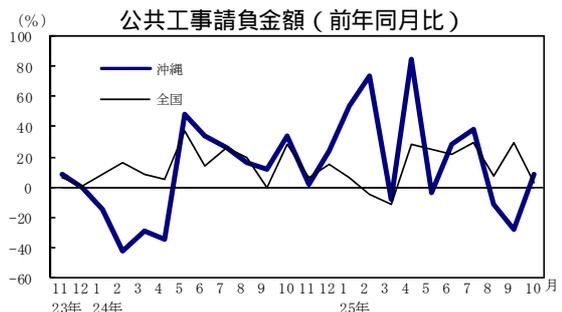
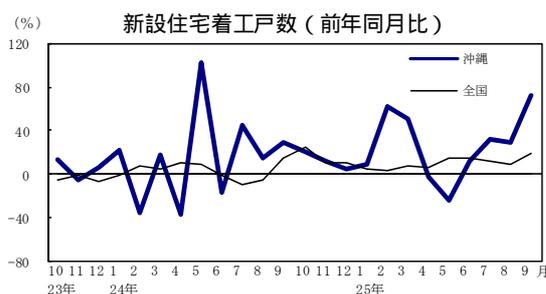
3. 乗用車は、乗用車新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比 (%))



(2) 住宅建設は大幅に増加している。

持家、貸家、分譲が前年を上回ったことから、大幅に増加している。

(3) 公共投資は25年度累計で見ると前年度を上回っている。

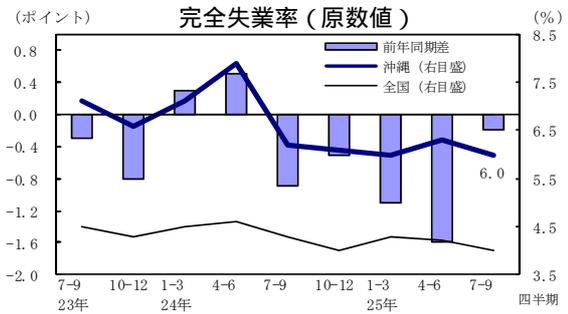
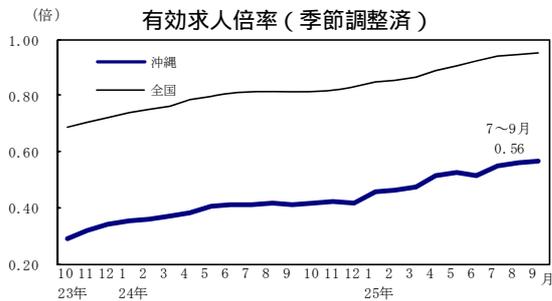


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は厳しい状況にあるものの、改善している。

有効求人倍率及び完全失業率等

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



(備考) 沖縄県の完全失業率は、沖縄県「労働力調査」より算出。

景気ウォッチャー調査 (10月) [雇用関連 (現状)]

「前年採用が無かった企業からの求人が増えている。また、人材派遣の時給のアップが若干みられる (学校 [大学])」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数は大幅に増加しているものの、負債総額はおおむね横ばいである。

(3) 消費者物価指数は上昇に転じている。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	24年10-12月	25年1-3月	25年4-6月	7-9月	25年10月
倒産件数	17	16	23	26	6
(前年比)	6.3	▲15.8	43.8	36.8	20.0
負債総額	23	219	52	26	44
(前年比)	25.2	449.6	186.2	▲1.5	922.4



景気ウォッチャー調査 (10月) [合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

・今月は月初、月中で台風接近による天候悪化があったが、催事場の物産展を前月から今月へ繰り越したことによる動員効果、店頭でのファッションショー開催など、集客の増幅を図ることができたため、売上は前年同月比で8%増となっている (百貨店)。

<先行き>

・求人件数では、前年同月比で20%増加している。ここ数年、前年同月比でマイナスになることが無く、今がMAXだと思いつつも、いまだに増加傾向にある (求人情報誌制作会社)。

景気ウォッチャー調査 (合計：家計動向関連+企業動向関連+雇用関連)

